

「回復期病棟入院患者に対するチェンブランケットの効果」について研究協力をお願い

【研究目的】

入院は日常生活からかけ離れた環境に置かれる事であり、個人差はありますが不安をもたらします。特に認知症を有する患者においては、環境の変化への適応が困難となり、不穏やせん妄、睡眠障害といった二次的障害を発症することがしばしば認められます。その結果、本人のみならず他の入院患者およびスタッフのストレスも増加します。不穏やせん妄、睡眠障害への対処法として精神安定剤や睡眠導入剤といった薬物療法を行うことがありますが、効果を得られない場合もあり、場合によっては日中の活動性低下を来し、ADLの低下や入院期間が延長するケースもあります。スウェーデンで開発された「チェンブランケット」は睡眠障害や発達障害のある患者に対してその改善させる効果があるとされ注目されています。また、認知症患者に対して使用した報告はありません。

チェンブランケットを使用する事により、不穏やせん妄、睡眠障害が改善するかどうかの研究を実施することとしました。

【対象】

当院回復期病棟入院中で、不穏、せん妄、睡眠障害のいずれかを有する患者

【方法】

対象患者に対して、年齢、性別、入院診断名、認知症の有無、薬物療法の有無、薬物療法がある場合は薬剤名、をカルテより抽出。チェンブランケット使用前・使用後に睡眠の評価として質問紙を使用する。質問紙はエプワース眠気尺度、睡眠調査票を使用する。

【研究期間】

平成 30 年 7 月～平成 31 年 3 月

【個人情報について】

症例を特定されないよう、名前は公表せず、日付に関しても表記せず評価日は入院からの経過日数とする。

本研究は、日常の一般診療として行われたものの観察研究であり、新たに直接的侵襲を負荷するものではない。さらに、新たに費用が発生することもない。

本研究にしてご質問および対象となる方で研究への利用を拒否される場合は、お手数ですが平日の 9 時から 17 時の間に下記の研究代表者まで、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。

【研究代表者】

診療部医師 臼井大介

リハビリテーション部理学療法士 森下誠也

【代表者連絡先】

電話番号：0887-38-7111